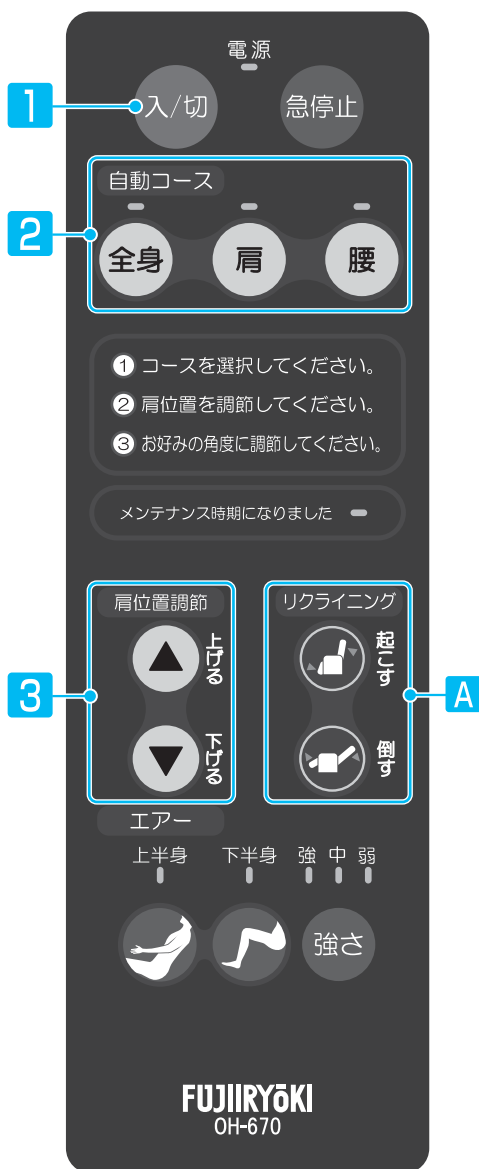


カンタン操作ガイド

枕を後ろに回して、椅子にお座りください。

自動コース



1 入/切 を押します。

- 電源ランプが点灯します。
- 自動コース (全身・肩・腰)、エア- (上半身・下半身) のランプが点滅します。

2 全身 肩 腰 から好みのコースを選択します。

- 選択したコースのランプが点灯します。
- 自動でスタンバイ位置まで背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。

3 コース選択後、もみ玉が所定の肩位置に移動します。肩位置調節の ▲ 上げる ▼ 下げる を押して、好みの肩位置に調節します。肩位置が決定するとマッサージを開始します。

- 「ピッ、ピッ…」と音が鳴っている間、肩位置を調節できます。
- 約 8 秒間肩位置の変更が無ければ、その位置を肩位置とします。

A さらにリクライニング角度をお好みの位置に調節する場合は、リクライニングの ▲ 起こす ▼ 倒す で調節してください。

4 マッサージが終了すると、自動で背もたれが起き上がり、脚部が下がります。

※エアーマッサージの使い方は裏面をご覧ください

エアーマッサージの操作

エアーマッサージ



1 入/切 を押します。

- 電源ランプが点灯します。
- 自動コース (全身・肩・腰)、エア (上半身・下半身) のランプが点滅します。

2 上半身 下半身 を押すと、マッサージを開始します。

- 選択したエアーマッサージのランプが点灯します。
- 自動でスタンバイ位置まで背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。
- 上半身と下半身を同時にマッサージ可能です。マッサージ開始後、もう一方のボタンを押してください。

3 強さ を押して、好みの強さに調節できます。

- 強さを3段階から選択できます。
- エア強さは「中」に初期設定されています。

4 マッサージが終了すると、自動で背もたれが起き上がり、脚部が下がります。

※自動コース簡単操作については表面をご覧ください

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 次の人は使用しない。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人。
(例: 血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (2) 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ● 心臓に障害のある人 ● 温度感覚喪失が認められる人 ● 妊娠中、または出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ● 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人
(例: 急性炎症症状 [けん(倦) 怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期、衰弱しているとき)
 - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折をしている人、捻挫、肉離れなどの急性 [とう(疼)痛性] 疾患の人
 - 背骨(脊椎)に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人 ● 椎間板ヘルニア症の人
 - その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
- (3) リクライニングするときや脚部を動かさずときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物がいないことを確認する。
- (4) 脚部を下げるときは、脚部の下に足や手を挟まないようにする。また、脚部の下に人やペット、物がいないことを確認する。
- (5) 使用前には、背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。
(どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
- (6) 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- (7) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (8) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (9) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。
- (10) 動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先または当社のお客様相談窓口にて点検・修理を依頼する。